

検索奉行 EX ユーザーガイド

検索奉行 EX ユーザーガイドでは検索奉行 EX のサーバーへの初期設定、クライアント用アプリケーションの実行などについて説明しています。

検索奉行 EX ユーザーガイドについて

検索奉行 EX インストールガイド(以下本書)は、検索奉行 EX のサーバー用設定の初期設定、クライアント用アプリケーションの実行などについて説明しています。
本書の画面イメージは一例です。実際の画面と異なることがあります。

ご注意

本書の内容の全部または一部を無断で記載することを禁止します。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

<<このページは白紙です。>>

検索奉行 EX ユーザーガイド 目次

1. 概要	1
1-1. 検索奉行 EX	1
1-2. サーバー用プログラム OS と動作環境	1
1-3. クライアント用プログラム OS と動作環境	1
1-4. ライセンスについて	1
<hr/>	
2. 検索奉行 EX メニュー	3
2-1. 検索奉行 EX サーバー設定用プログラムメニュー	3
2-2. 検索奉行 EX クライアント用プログラムメニュー	4
<hr/>	
3. 検索奉行 EX サーバー設定用の初期設定	5
3-1. インデックス設定	5
3-2. インデックスの新規作成	5
3-3. インデックスの更新・最適化の実行(手動)	6
3-4. インデックスの更新・最適化の実行(起動時刻指定)	7
<hr/>	
4. 検索奉行 EX クライアント用	11
4-1. インストールメニュー	11
4-2. 設定	11
4-3. 検索奉行 EX クライアント用	12
<hr/>	
5. コマンドヘルプ	15
5-1. 検索奉行 EX ヘルプ	15

<<このページは白紙です。>>

1.概要

検索奉行 EX の概要について説明します。

1-1. 検索奉行 EX

検索奉行 EX は、サーバー設定用プログラムと実際にアプリケーションを実行するクライアント用のプログラムから構成されています。

インストールはサーバーPCに「検索奉行 EX(サーバー設定用)」を、各クライアントPCに「検索奉行 EX」を個々に行う必要があります。

本ソフトは Windows システムやネットワーク環境などが正しく動作することが前提となっております。

サーバー・クライアント間の通信、共有フォルダの設定など予めご確認ください。

1-2. サーバー用プログラム OS と動作環境

検索奉行 EX サーバー設定用プログラムの対応 OS、動作環境について説明します。

OS

Windows 10、8.1、8

Windows Server 2012

動作環境

ディスク空き容量：システム 100MB 以上

Index ファイル用に別途、容量を必要とします。(目安: A3 図面 10 万枚で 約 60MB)

1-3. クライアント用プログラム OS と動作環境

検索奉行 EX クライアント用プログラムの対応 OS、動作環境です。

OS

Windows 10、8.1、8

動作環境

ディスク空き容量：システム 50MB 以上

1-4. ライセンスについて

検索奉行 EX のクライアント用プログラムの実行には台数分のライセンスが必要です。

サーバー設定用プログラムの実行ではライセンスチェックを行いません。

検索奉行 EX は下記 2 つのライセンス形態があります。

■ スタンドアロンライセンス

弊社にて、スタンドアロン専用のライセンスファイル(*.acf ファイル)を発行いたします。

1 端末毎に、スタンドアロン専用のライセンスファイル(*.acf ファイル)を使用して、インターネット経由でアクティベートを実行するタイプです。

クライアント用プログラムでのみライセンスのアクティベート操作を実行します。

※ライセンスファイル(*.acf ファイル)は製品購入時(増設時)に 1 度発行されます。

バージョンアップ後も、初期に発行されたライセンスファイルを継続使用可能な仕組みとなっております。

製品購入時(増設時)に発行されますライセンスファイル(*.acf ファイル)は大切に保管ください。

紛失されました場合のみ再発行いたします。

■ ネットワークライセンス

FlexNet Publisher を使用してサーバーでライセンスを管理します。

本書ではネットワークライセンス設定の説明を省略しております。ネットワークライセンス設定につきましては、別途「FlexNet ネットワークライセンス用インストールガイド」がございます。

<<このページは白紙です。>>

<<このページは白紙です。>>

2.検索奉行 EX メニュー

検索奉行 EX のサーバー設定用のプログラム内容について説明します。

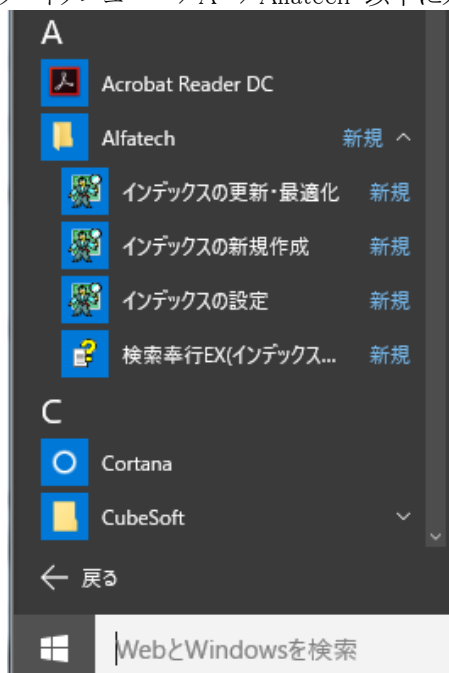
2-1. 検索奉行 EX サーバー設定用プログラムメニュー

検索奉行 EX サーバー設定用プログラムでは、以下のアプリケーションがインストールされます。

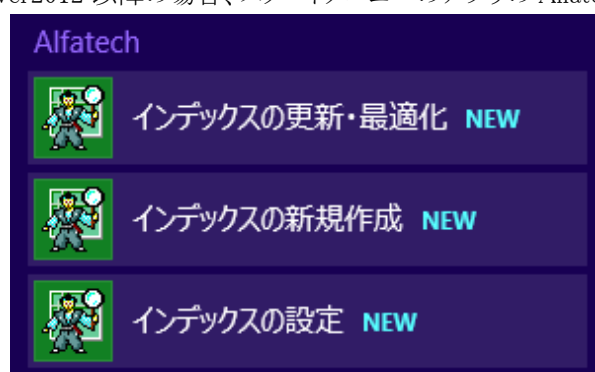
- インデックスの更新・最適化
- インデックスの新規作成
- インデックスの設定

■ メニュー

Windows10 の場合、スタートメニュー → A → Alfatech 以下にメニューが表示されます。



Windows8、Windows Server2012 以降の場合、スタートメニューのアプリの Alfatech にメニューが表示されます。



※サーバ用プログラムではライセンスのアクティベートは必要ありません。クライアントのみ必要となります。

2-2. 検索奉行 EX クライアント用プログラムメニュー

クライアント用プログラムでは、以下のアプリケーションがインストールされます。

- アルファテックランチャー - 検索奉行 EX - 検索奉行 EX
 - 検索奉行 EX - 設定
 - 検索奉行 EX - 検索奉行 EX ヘルプ
 - ユーティリティ - ライセンスモニタ (*1)
 - 管理ツール - ライセンス形式の設定

*1 ネットワークライセンス用です。

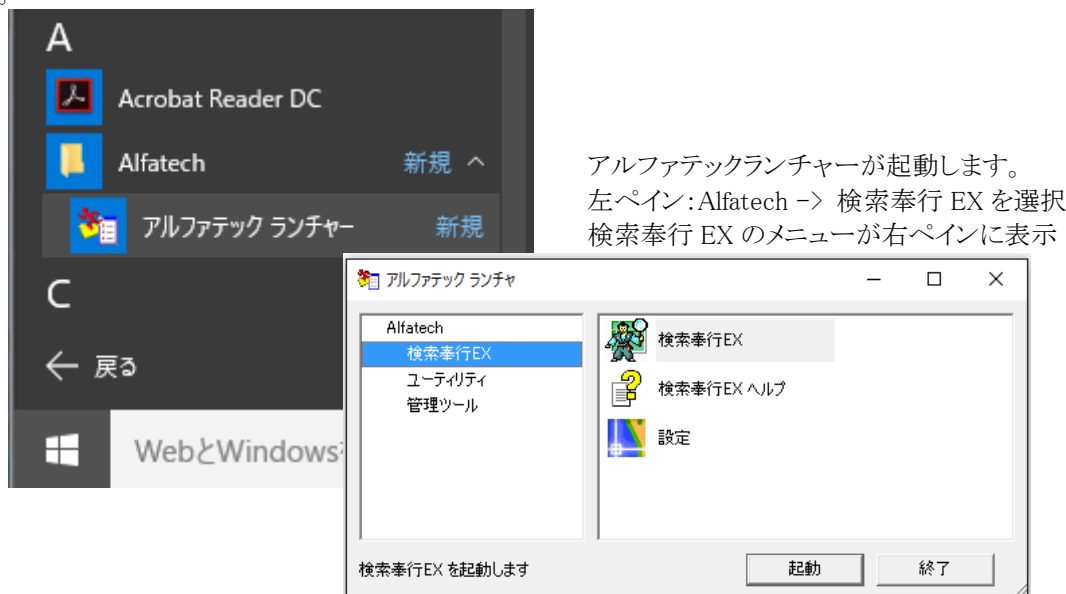
ネットワークライセンス使用時に、現在ライセンスを取得中のクライアントなどを確認できます。

■ デスクトップアイコン



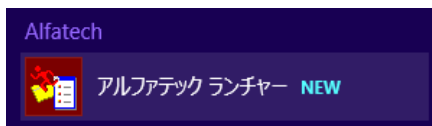
■ メニュー表示

Windows10 の場合は、スタートメニュー -> すべてのアプリ -> A -> Alfatech -> アルファテックランチャーを選択します。



アルファテックランチャーが起動します。
左ペイン: Alfatech -> 検索奉行 EX を選択
検索奉行 EX のメニューが右ペインに表示

Windows8.1/8 の場合は、スタート -> アプリから Alfatech のアルファテックランチャーを選択します。



アルファテックランチャーが表示します。

左ペイン: Alfatech -> 検索奉行 EX を選択

検索奉行 EX のメニューが右ペインに表示されます。

3.検索奉行 EX サーバー設定用の初期設定

検索奉行 EX サーバー設定用プログラム実行時の初期設定について説明します。
クライアント用プログラムと共通設定となるインデックスの設定、作成、更新・最適化が必要です。

3-1. インデックス設定

検索奉行 EX では高速検索を行う為に、「インデックスの設定」にて図面庫、インデックスの作成先を登録します。

1. スタートメニュー から[インデックスの設定]を選択します。
2. 検索奉行 EX ダイアログが表示されます。図面庫とインデックス作成先を設定します。

割付例)

※図面庫とインデックスの作成先は必ずクライアントと共有できるフォルダを指定してください。

3. [OK]をクリックします。

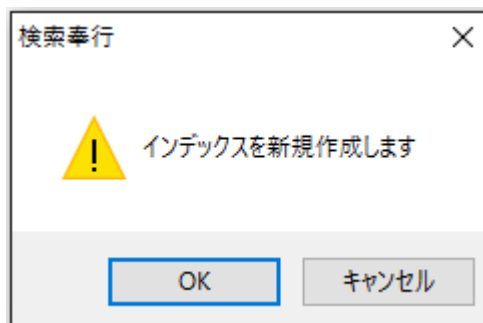
3-2. インデックスの新規作成

インデックスの設定で指定した図面庫フォルダ、インデックスの作成先以下に図面庫フォルダ以下にあるすべての図面(*.dwg/*.dxf)に対しての検索用インデックスを作成します。

インデックスの設定で指定した図面庫フォルダは**検索奉行 EX (クライアント用プログラム)の「検索対象とする図面庫」**となります。

図面庫の dwg/dxf 図面ファイル内の情報を毎回読み込むのではなく、書き出されたインデックス情報を検索することで検索結果表示の高速化を実現しています。

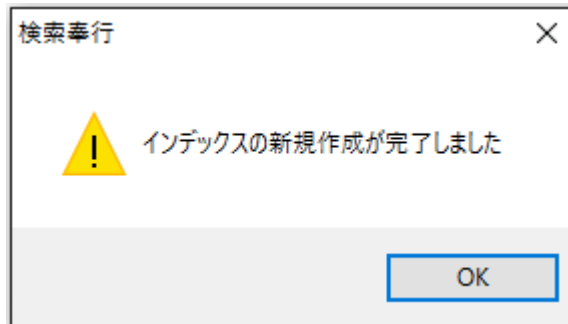
1. スタートメニュー から[インデックスの新規作成]を選択します。
2. メッセージが表示します。[OK]をクリックします。



3. インデックスの作成が始まります。
「インデックスの設定」で図面庫に設定したパス以下にあるすべての図面からテキスト、マルチテキスト、ブロックの属性値を抽出し、インデックス作成先のフォルダ下にインデックスファイルを作成します。

図面の枚数により時間がかかることがあります。

4. 完了後、メッセージが表示します。[OK]をクリックします。



(作成されるファイル)

[インデックスの設定]で指定したパス以下に作成されたフォルダ/ファイルは、検索のための設定・インデックスファイルです。削除されないようご注意ください。

[インデックスの設定]	
図面庫以下	インデックス作成先以下
DENKIKB.ini	ESTRAIER フォルダ
DENKIKBEX.reg	PROPERTY フォルダ
DENKIKBX.log	DENKIKB.ini
FILES.LST	DENKIKBEX.reg
	DENKIKBX.log
	DENKIKBX_File.log
	FILES.LST

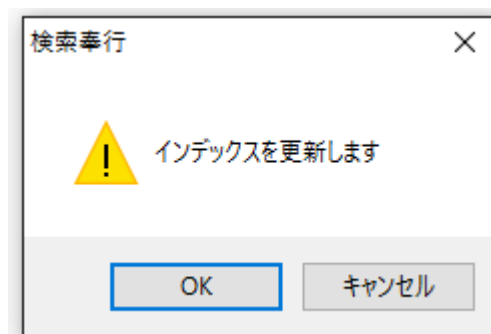
3-3. インデックスの更新・最適化の実行(手動)

インデックス作成後に新規に追加された図面については、インデックスが作成されておらず高速な検索の対象にはなりません。

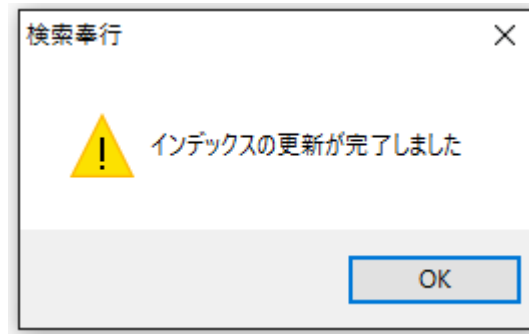
その為、ある一定の間隔を置いて「インデックスの更新・最適化」を行う必要があります。

手動でインデックスの更新・最適化を行う方法について説明します。

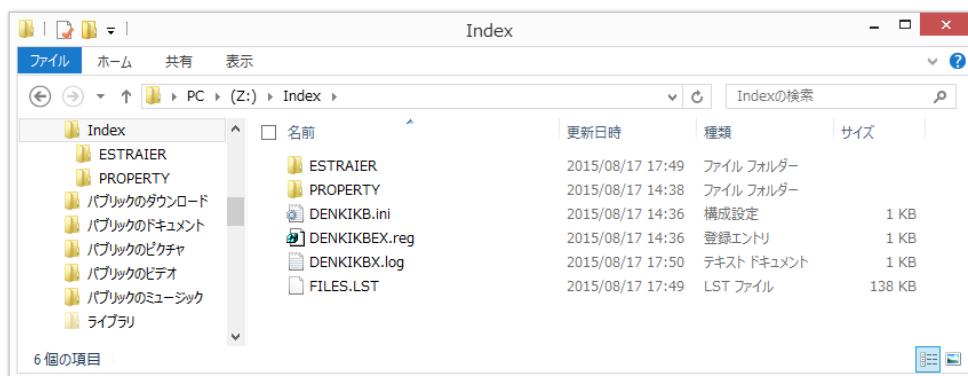
1. スタートメニュー から[インデックスの更新・最適化]を選択します。
2. インデックスを更新するメッセージが表示されます。[OK]をクリックします。



3. インデックス更新処理終了後、インデックスの更新完了メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。



更新処理の時間は図面容量により異なります。
「インデックスの設定」にて、設定されている「インデックスの作成先」パス以下が更新されます。

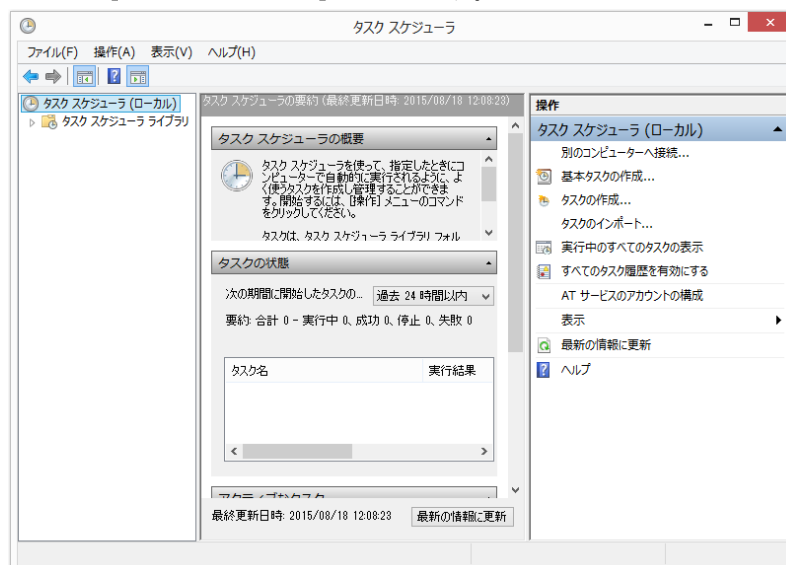


3-4. インデックスの更新・最適化の実行(起動時刻指定)

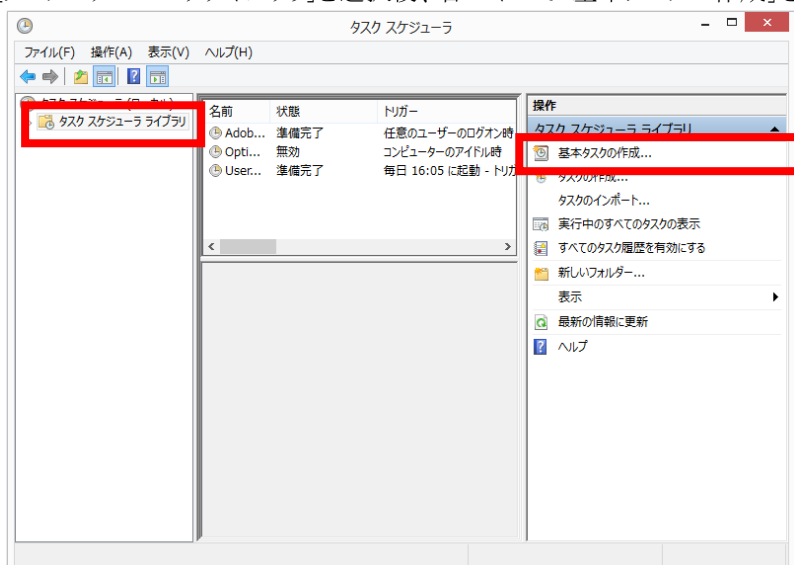
インデックスの更新・最適化処理を「タスクスケジューラ」を使用して夜間などにバッチ実行を行う方法について説明します。

インデックスの更新・最適化処理中は、クライアントからの検索作業ができません。インデックスの更新・最適化の実行処理は夜間など誰も検索奉行を使用しない日時を考慮して指定してください。

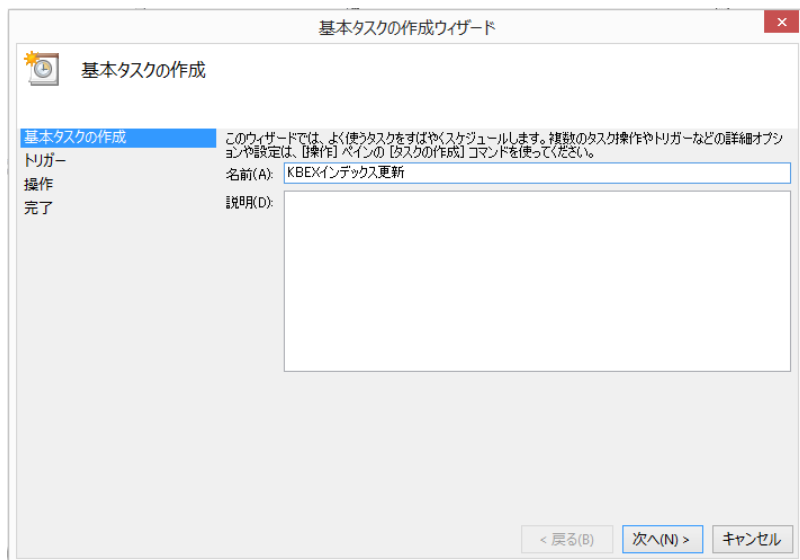
1. スタートメニュー から[タスクスケジューラ]を選択します。



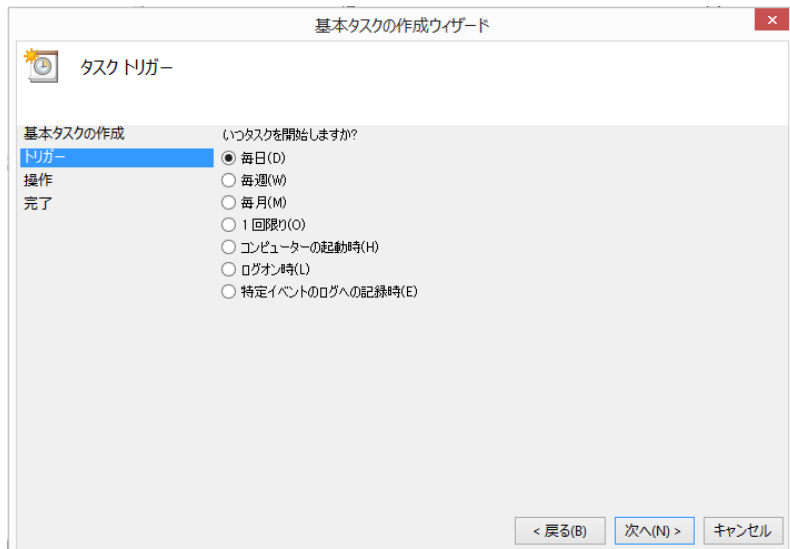
2. 左ペインで[タスクスケジューラライブラリ]を選択後、右ペインで「基本タスクの作成」を選択します。



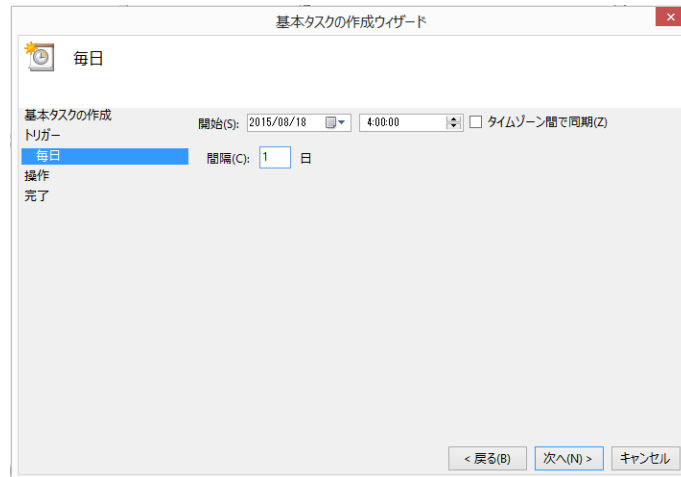
3. 基本タスクの作成ウィザードが表示します。「基本タスクの作成」で”名前”を入力します。(例:KBEX インデックス更新)



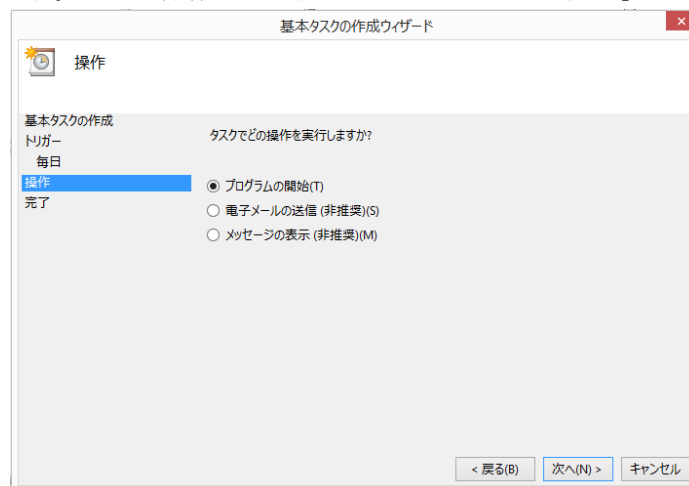
4. [次へ]をクリックします。
5. タスクトリガーが表示されます。トリガーから開始する項目を選択します。(例:毎日)



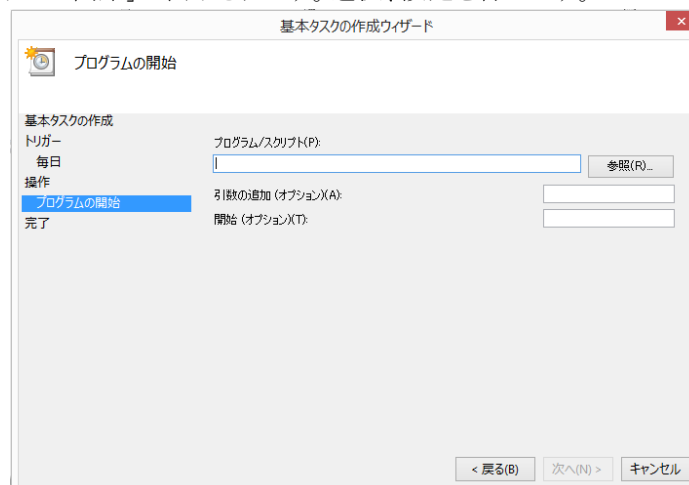
6. [次へ]をクリックします。
7. トリガーで選択した「タスク開始予定」(例:毎日)で開始日時を指定します。



8. [次へ]をクリックします。
9. 操作が表示されます。タスクで操作を実行する項目で「プログラムの開始」を選択します。



10. [次へ]をクリックします。
11. 「操作」-「プログラムの開始」が表示されます。選択、設定を行います。



[プログラム/スクリプト]

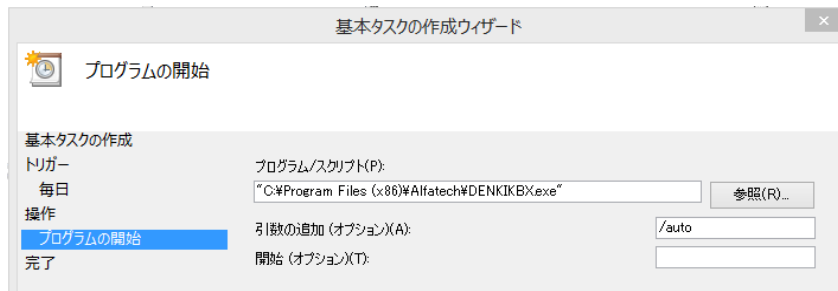
[参照]ボタンをクリックし、下記プログラムを選択します。(“C:¥”はインストールドライブです。)

64bitOS の場合:C:¥Program Files(x86)¥Alfatech¥DENKIKBX.exe

32bitOS の場合: C:¥Program Files¥Alfatech¥DENKIKBX.exe

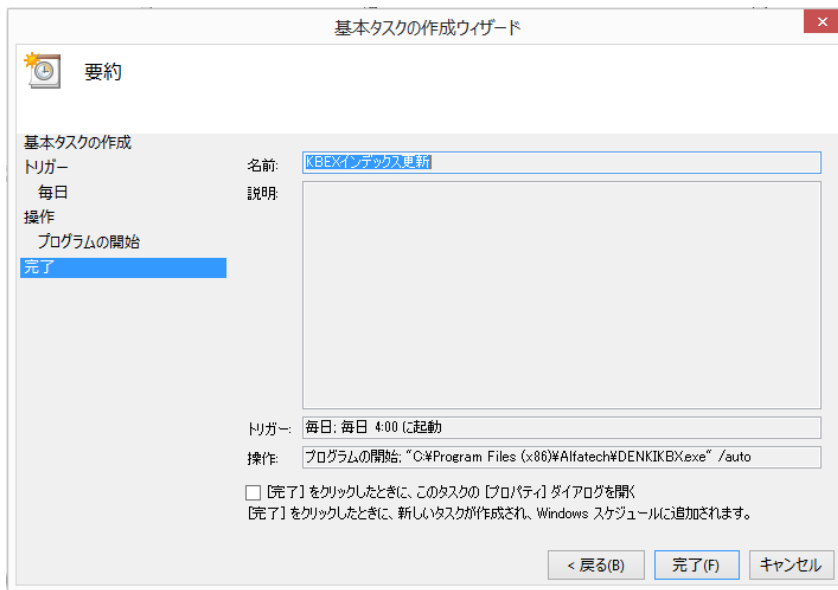
[引数の追加(オプション)]

入力:/auto

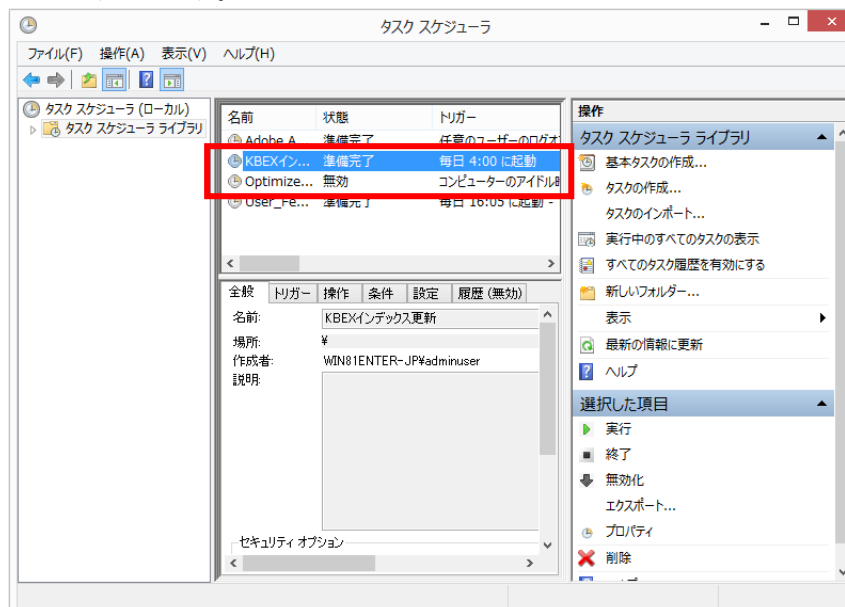


12. [次へ]をクリックします。

13. 概要が表示されます。内容を確認し、[完了]をクリックします。



14. タスクスケジューラに戻ります。"KBEX インデックス更新"が追加されたことが確認できます。[×]をクリックして終了します。



4. 検索奉行 EX クライアント用

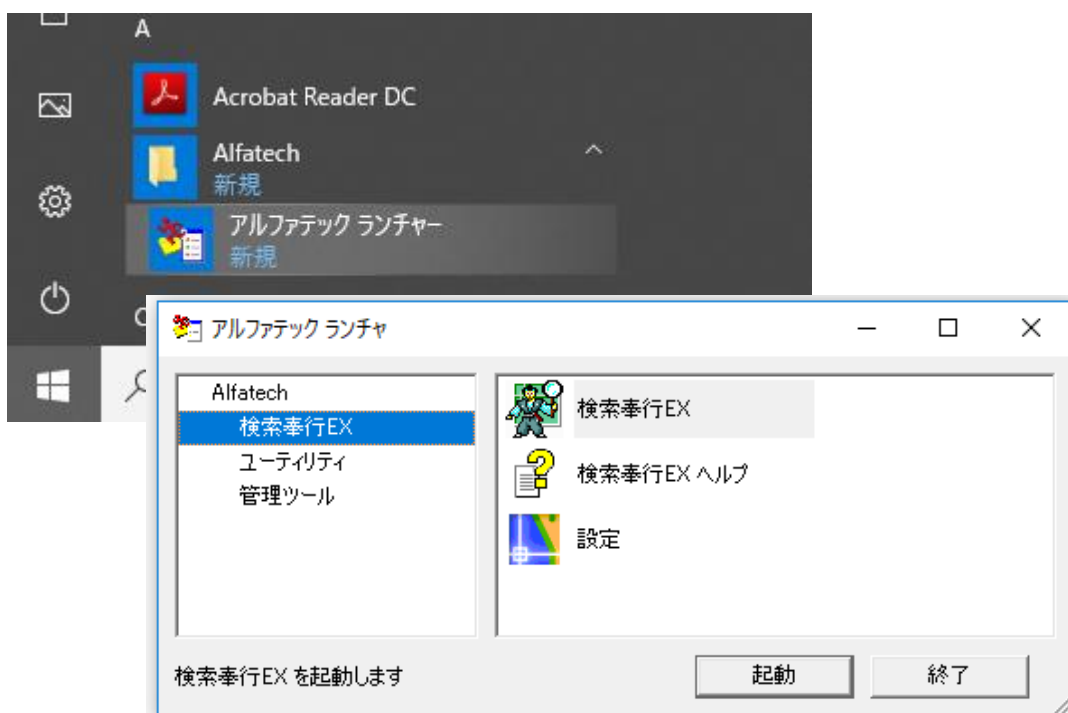
検索奉行 EX のクライアント用プログラムの説明をします。

4-1. インストールメニュー

インデックスの更新・最適化処理を「タスクスケジューラ」を使用して夜間などにバッチ実行を行う方法について説明
インストール後、デスクトップにアイコンが表示されます。



スタートメニューからアルファテックランチャーを表示した例です。(Windows10)



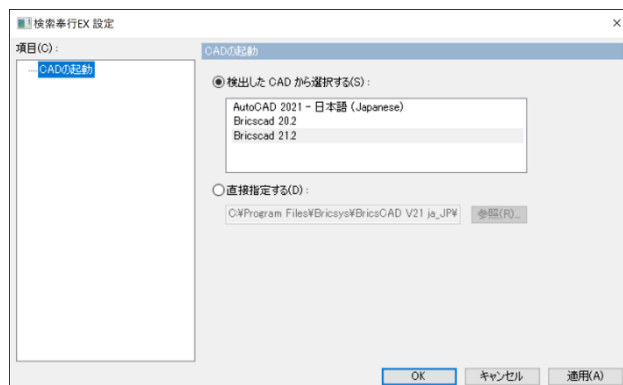
検索奉行 EX: クライアント用の実行アプリケーション
設定: 検索奉行 EX で図面を開く場合の CAD を設定します。

4-2. 設定

アルファテックランチャー内の設定アイコンを選択し、[起動]をクリックします。
検索奉行 EX 設定が表示されます。

検出した CAD から選択
クライアント PC にインストールされている CAD が表示されます。
使用する CAD を選択します。

直接指定する
CAD プログラムの exe を直接選択します。

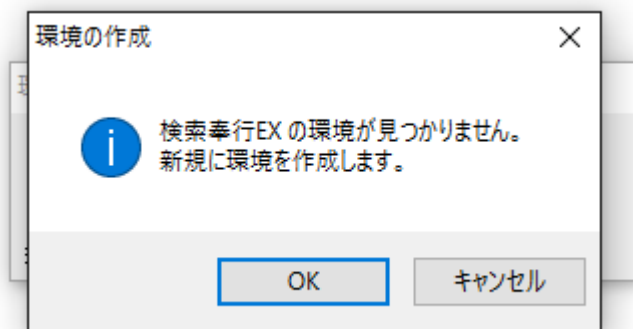


4-3. 検索奉行 EX クライアント用

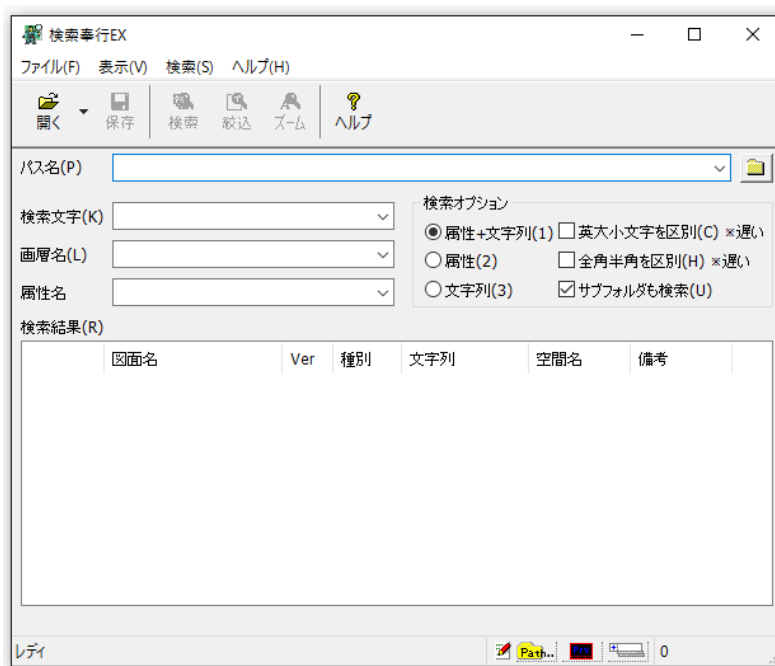
検索奉行 EX の実行について説明します。デスクトップアイコンをダブルクリックします。



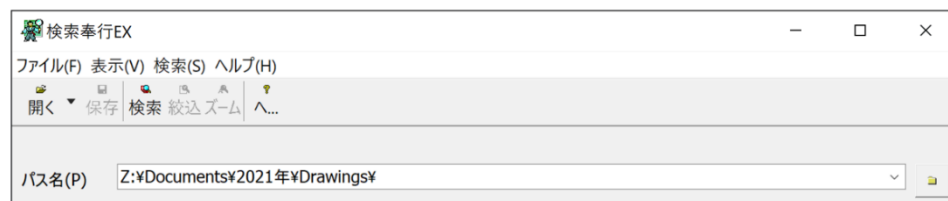
初めて起動するとき、下記のメッセージが表示する場合があります。[OK]をクリックして起動します。



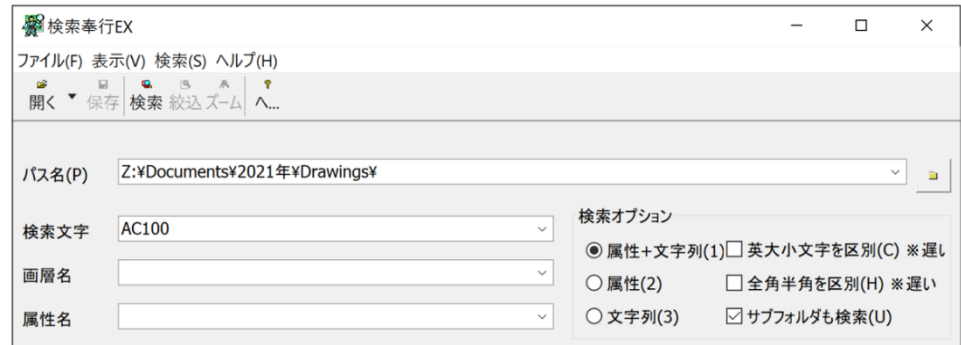
検索奉行 EX が起動します。



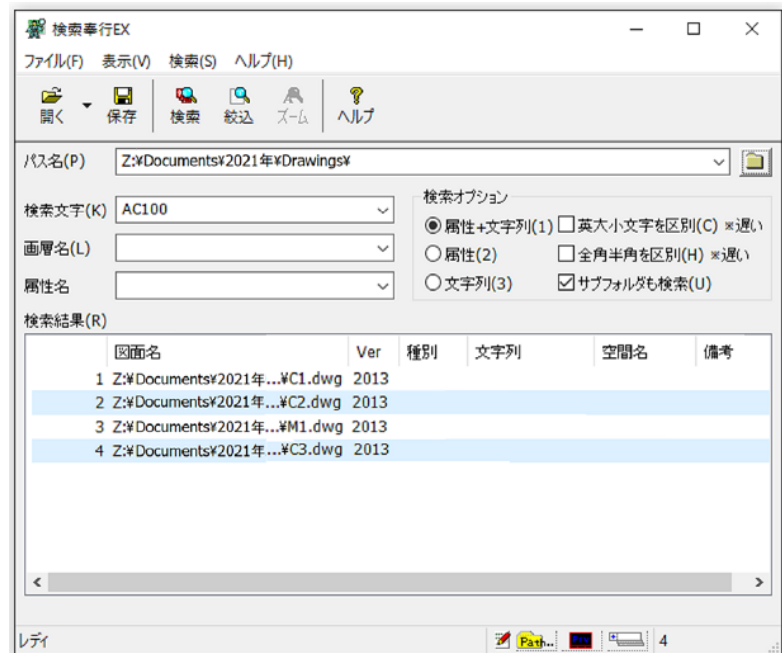
パス名: 検索奉行 EX サーバー設定用で図面庫に設定したパス以下のフォルダを指定します。



検索条件を入力・選択します。[検索]アイコンがアクティブになります。[検索]アイコンをクリックし実行します。



検索結果です。



各メニュー、項目の詳細につきましては[ヘルプ]にて説明しています。

<<このページは白紙です。>>

5.コマンドヘルプ

検索奉行 EX のコマンドヘルプについて説明します。

5-1. 検索奉行 EX ヘルプ

本ソフトを起動して、メニューの [ヘルプ] を選択します。ヘルプが表示します。



(画面は実際とは異なる場合があります)

<<このページは白紙です。>>

検索奉行 EX ユーザーガイド

2021年08月 第3版発行

図研アルファテック株式会社

<https://alfatech.jp/>
[mail:support@alfatech.jp](mailto:support@alfatech.jp)